



MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

## 礼拝黙想 Meditating on Worship

「イスラエルは国連において偏見、時には差別にさえ苦しんできました。」

国連事務総長 潘基文（パン・ギムン）、2016 年

**A** 「彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない」

このイザヤ 2 章 4 節の言葉は、米国ニューヨークにある国連本部の敷地内の壁（イザヤ・ウォール）や庭園に、世界平和の理念を象徴する聖句・モニュメントとして刻まれている。

\*\*\*\*\*  
国連の反イスラエル傾向を憂えて

国連は5月、紛争地における性暴力のブラックリストに、イスラエルとロシアを追加しました。これは、「紛争下における性的暴力対策」担当の国連特別代表、ブラミラ・パッテン氏の報告を受けて判断されたものです。イスラエルのダノン国連大使は「事実や現実と乖離している」と反論しました。

10月7日に性的暴力を行ったハマースリストに掲載済みで、国連内部では「イスラエルも掲載すべきだ」という声上がり、こうした圧力に事務総長が屈したとイスラエルは非難。後に報告者のパッテン氏は、イスラエルの性的暴力の証拠を一切見ていないことを認めました。

国連の反イスラエル傾向は根強く、UN Watch によると、この20年で国連人権理事会が採択したイスラエル非難決議は116。一方、国民を弾圧する北朝鮮は19、イランは18にとどまっており、公正とは言えない状況です。

（BFP 月刊オーブライフより）

\*\*\*\*\*

UN Watch（国連ウォッチ）は、国連（UN）の活動を監視するスイス・ジュネーブ本部の非政府組織（NGO）ですが、「反イスラエル」の立場ではなく、むしろ「親イスラエル」の立場から国連内の反イスラエルの偏向（バイアス）を厳しく批判・告発している団体。

UN Watch は、国連総会や国連人権理事会（UNHRC）が、世界中の人権侵害国（中国、ロシア、北朝鮮、イランなど）を

差し置いて、イスラエルのみを不当に標的にしていると主張している。

決議の不均衡を告発：国連総会で採択される国別非難決議の圧倒的多数（年間約20件のうち約7割）がイスラエルに対するものであり、他の大規模な人権侵害国への決議がゼロまたは数件にとどまっている「ダブルスタンダード」をデータで示し批判している。

UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）への追及：UNRWA の職員や教師が SNS 等で反ユダヤ主義やテロを扇動・関与しているとして、具体的な証拠を挙げて国連に解体や改革を迫る急先鋒となっている。

国連特別報告者との対立：パレスチナ自治区の人権状況を調査する国連の特別報告者（フランチェスカ・アルバネーゼ氏など）が、ハマースなどのテロ行為を無視してイスラエルのみを「ジェノサイド」と不当に非難しているとして、法的反論や解任要求を行っている。

直近の2026年半ばにおける UN Watch 関連の主なイスラエル関連ニュースは以下の通り。

### 1. プレイ委員会（ガザ調査委員会）の報告書への猛反論

概要：国連人権理事会のプレイ調査委員会が、「イスラエル軍はガザやヨルダン川西岸地区でパレスチナの子どもたちを意図的に標的にしている」とする94ページの報告書を提出した。

UN Watch の主張：UN Watch は法的反論書を公開し、「イスラエルが子どもを狙っているとする証拠は皆無である」と断言。さらに同報告書が「ハマース」側の軍事インフラ（民間施設への地下トンネルや武器配置）の存在を無視し、地元の偏った証言のみに依存している二重基準を強く非難した。

### 2. フォルカー・ターク国連人権高等弁務官の再任への反対運動

概要：国連総会において、フォルカー・ターク人権高等弁務官の2期目の任期延長（4年間）が承認されたが、イスラエルと米国はこれに強く反対していた。

UN Watch の主張：ターク氏が1期目の任期中にイスラエルに対して58回もの非難声明を出した一方、100万人以上のウイグル族を拘束している中国や、大規模な弾圧を行っているベネズエラ、イランなどの独裁政権への批判を極端に避けている事実をデータで告発した。UN Watch は「民主主義国は政治的に腐敗した国連人権システムに正当性を与えるべきではない」として任期延長に反対投票するよう強く呼びかけていた。

### 3. ユネスコ（UNESCO）への抗議：テロリストをジャーナリストと誤認

概要：ユネスコがガザ地区で死亡した「ジャーナリスト」への追悼や非難声明を出した件に関する抗議。

UN Watch の主張：ユネスコが追悼した人物の中に、ハマースの小隊長として戦闘に参加していたテロリストが含まれている動機証拠（ハマース自身が公開した殉教者ビデオなど）を突き止めた。UN Watch はユネスコに対し、テロリストをジャーナリストと認定した誤った指定を即座に撤回し、独立した調査を行うよう求める公開書簡を送付した。

### 4. 世界保健機関（WHO）の「イスラエル単独指名非難」を批判

概要：世界保健総会において、特定の国を対象とした非難議題がイスラエルのみであったことに対する抗議。

UN Watch の主張: 代表のヒレル・ノイアー氏は、何千万人もの人々が深刻な人道・保健危機に瀕しているスーダン、コンゴ民主共和国、イエメンなどにおける内戦や紛争は完全に無視されていると指摘した。国連のトップ医療機関が「世界的な医療の優先事項を犠牲にして、イスラエルだけを政治的に攻撃している」と非難している。  
\*\*\*\*\*

国連特別報告者に中国から 2500 万円、「民族浄化の隠蔽支援」 監視団体  
2022 年 5 月 20 日 AFP BB ニュース

国連 (UN) 監視団体「UN ウォッチ (UN Watch)」は 19 日、国連のアリーナ・ドゥハン (Alena Douhan) 特別報告者が 2021 年に中国から 20 万ドル (約 2560 万円) を受け取る一方、同国がイスラム系少数民族ウイグル人に対する「民族浄化を隠蔽 (いんぺい) するのを支援」したと非難し、返金を求めた。

ドゥハン氏はベラルーシ人法学者。2020 年 3 月、国連人権理事会 (UN Human Rights Council) から特別報告者に任命された。一方的な制裁の負の影響を専門とする。国連特別報告者の主張は必ずしも国連の見解を反映するものではない。

ドゥハン氏は昨年 9 月、新疆ウイグル自治区 (Xinjiang Uighur Autonomous Region) を「素晴らしい土地」と宣伝 (けんでん) する中国政府が後援するオンラインプロパガンダイベントに出席した。

イベントでは中国の外交官や高官が、西側諸国が中国に対する中傷キャンペーンを展開していると非難。「新疆ウイグル自治区の政策は国際的な労働・人権基準に従っており、生活水準の向上を目指す全民族の意志を支持する」と主張する映像も流された。

欧米諸国は中国によるウイグル人へのジェノサイド (大量虐殺) を認定しているが、中国は断固として否定している。

UN ウォッチによると、ドゥハン氏は昨年、他にも二つの西側諸国による制裁を批判するイベントに出席。イベントは中国、

ベラルーシ、イラン、ベネズエラ、ロシアの共催だった。

UN ウォッチのヒレル・ノイアー (Hillel Neuer) 事務局長は「独立した立場であるべき人権専門家が政権から金を受け取り、残虐行為を隠蔽すべく企図されたイベントを支持するとは信じ難い」と非難した。

中国からドゥハン氏への献金は 3 月、国連総会 (UN General Assembly) に提出された国連人権理事会が任命したすべての特別報告者と作業部会の活動に関する報告書で発覚した。

国連人権理事会の報道官は AFP の取材に対し、特別報告者の活動資金は国連の通常予算で賄われるが、委託された仕事の量に対して決して十分とはいえないとして、特定の活動に対する任意献金の必要性を強調した。

特別報告者の活動には多くの国が献金しているが、中国が昨年ドゥハン氏に献金した額は群を抜いて多かった。ドゥハン氏はロシアからも 15 万ドル (約 1900 万円)、カタールからも 2 万 5000 ドル (約 320 万円) を受け取った。

ドゥハン氏はベネズエラやジンバブエ、イランなどを訪問。制裁は「壊滅的な人道的影響」をもたらす違法であり、解除すべきだと主張。人権活動家からは、権威主義国の苦境は西側諸国に科された制裁が原因だと主張し、権威主義政権のプロパガンダに利用されていると批判されている。  
\*\*\*\*\*

ワシントン・フリー・ビーコンの新たな報道によると、国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) に対する米連邦政府の捜査は、テロとのつながりが疑われる UNRWA 関係者少なくとも 1,500 人にまで拡大する見込みだ。

同報道によれば、捜査の拡大に伴い、ワシントンでは国連機関である UNRWA に対する制裁措置、特定の法的保護の剥奪、さらには外国テロ組織指定の可能性など、懲罰的措置に関する議論が激化している。

UNRWA とハマスとの関係に対する懸

念は、今に始まったことではない。米国国際開発庁 (USAID) 監察総監室は既に、現職または元 UNRWA 職員がハマスと関係があり、10 月 7 日の攻撃に関与していたことを示す証拠を報告している。

議会の監視当局者も、UNRWA の透明性と、職員のハマスとの関係疑惑に関する米国の捜査への協力姿勢について懸念を表明している。

ガザ地区住民への援助と教育を担う組織は、透明性、説明責任、そしてテロリストの浸透からの自由が不可欠である。人道支援活動はテロ組織の隠れ蓑になってはならない。

真実は重要であり、国際機関は自らが代表すると主張する基準を遵守しなければならない。

国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) の職員 101 名が、2023 年 10 月 7 日のハマスによる虐殺に関与した、またはハマスと関係があったとして、米国国際開発庁監察総監室により、米国納税者資金の受給停止または除外の対象となる可能性が指摘された。

特定された職員には、警備員、教師、校長、医療従事者、心理カウンセラーなどが含まれる。

ハマスのテロリストを雇用した UNRWA の責任を問うべき時が来た。  
\*\*\*\*\*

「国連は現代の地政学において最も危険な道具の一つとなっている。権威主義政権は国連の威信を利用して自らの行為を正当化し、犯罪を隠蔽し、反西欧プロパガンダを流布している。世界で最も信頼されている監視機関が、独裁者の広報会社として巧みに利用されているという事実は、私たち全員にとって恐ろしいことだ。」(アンドリュース・フォックス 米国作家) Ω

<お知らせ Announcement>

- ★8月14日 (金) BS はキャンセル。
- ★8月16日 (日) はポットラック。
- ★8月9日と30日はディアコノス・ランチ

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1: 23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2: 10)。